



＝梅雨の季節になりました。

安全運転で日豊海岸をご堪能ください！＝

今月のシーニック・バイウェイ

観光案内所



バイキングレストラン



カキ小屋



北浦臨海パーク(延岡市北浦町古江)

平成28年4月27日(水)に全面オープンした「北浦臨海パーク」です。

物販施設「きたうらら海市場」を中心に、同敷地内には24時間利用可能な駐車場・トイレはもちろん、「観光案内所」を始め、「バイキングレストラン」や今が旬の「イワガキ」を提供する「カキ小屋」が併設されており、延岡市の新たな北の玄関口として、そして「食」の魅力、観光情報を発信する新たな拠点として期待されています！！

地域資源（宝）の紹介コーナー



地域で活動する人



◆富高 満広(トミカ ミツヒロ)さん ~富栄パール代表~

富高満広代表は、少なくなりつつある真珠の養殖をされており、他の県からも養殖について伺いに来られるほどの実力者です。真珠に関する勉強、研究を怠らずアクセサリーとしての真珠だけでなく健康器具への応用まで幅広く手がけられています。一方で若い頃は武道(空手)を極め、地域の若者に教えていたそうです。最近は、地域で開催されるスポーツ大会のお世話役などにも……

「あまべ渡世大学」では真珠アクセサリー作り体験の講師を務められています。一見、荒々しいとイメージされる空手と繊細な感覚が要求される真珠アクセサリー作り。矛盾するようですがそこはバランス感覚で極めていきます。

風景街道の活動にも積極的に参加され、風景街道九州ルートのみスター・オブ・シーニックバイウエイ(MSC)の資格を保有しています。

富高代表のコメント

「真珠一筋32年。これからも真珠で培った様々な技術を活用して地域の活性化に邁進して行きたい。」



富高満広さん

受け付け3名から
受講料:1500円から
◆問い合わせ先:富栄パール
090-4776-1944



歴史・文化・自然・景観資源



◆清水庵の観音像(佐伯市蒲江) 佐伯堅田ICから車で20分

清水庵は、延喜年間(901~923)諸国修行中の高僧の建立によるものと伝えられています。音羽山清水庵と号し、本尊は聖観世音菩薩です。この像は、土佐の長曾我部元親の守り本尊と伝えられ、戦国末期のこの地にやって来た長曾我部一門によって祭られたものと考えられています。

蓮華座は藤原末期、本体は安土桃山期のものと言われ、境内の古塔群とともにこの庵の歴史を語る貴重な文化財です。(蒲江町教育委員会立て看板より)

市指定の有形文化財になっています。



観音像

◆厚葉君が代蘭(佐伯市蒲江元猿海岸) 蒲江ICから車で15分



厚葉君が代蘭

元猿海岸海開きに先立ち、海岸の清掃を行っているとき茂みの中に元気一杯の花が見られました。「厚葉君が代蘭」らしきこの花は、5~6月と10月頃に黄白色で鐘のような形をした花をたくさん咲かせるそうです。見事に開花すれば、新たなシーニック・バイウエイの名所誕生になるかもと期待しつつ、下草刈りに励みました。今後の景観に乞うご期待あれ!



◆岩ガキ(佐伯市蒲江)

日豊海岸の岩ガキは、黒潮からのミネラル豊富な海水と山々から流れ出した雨水によって、大粒で濃厚・クリーミーな味わいになるのが特徴です。

また、養殖の岩ガキは、天然の岩ガキと同じ栄養素を吸収して育つものの、生産者が貝掃除を繰り返し行うため、成長が早く、殻に対する身の大きさも約2倍にもなると言われています。

6月から8月にかけて旬を迎えます。旨味のもとであるグリコーゲンをはじめさまざまな栄養素が多量に含まれており、夏を乗り切るには最適な食材です。



岩ガキ

活動報告

◆元猿海水浴場「清掃作業及び海開き神事」がありました

5月27日(金)に元猿海岸で清掃と海開きがありました。清掃作業当日は天候も良く、各団体関係者、元猿地区民など多数の参加があり、短時間でとてもきれいになりました。

海開き神事は佐伯市観光協会長、各団体代表者9名で執り行われました。

例年、6月清掃作業、7月に海開きをしていましたが、今年から大分県内で一番南にある蒲江で県内一早い海開きを目指し開催されました。来年以降も県内一の開催を目指していくそうです。



清掃風景



神事風景



活動報告

◆日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)が日本風景海道九州ルートの間年優秀活動賞を受賞しました!!(^o^)

「日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)」が平成27年度の日本風景街道・九州ルートの優秀活動賞を受賞し、平成28年5月26日(木)に表彰式が開催されました。

九州で唯一、快水浴場百選の特選に選ばれた「下阿蘇ビーチ」の美しい景観・自然を守りたいと願う地域団体「きたうら風景海道推進協議会」が中心となり、清掃活動を10年以上前から地道に取り組んでいる事が評価されたものです。受賞者を代表して、推進協議会の村田会長から「継続する事は簡単ではないが、尻すぼみにならないようこの活動を次世代へ伝えていきたい」とお礼の言葉がありました。



▲表彰状を受け取る村田会長
(写真左側)



▲ 今回表彰対象となった「下阿蘇ビーチ清掃活動」

シーニック・バイウェイとは:

アメリカが発祥で景観のよい(シーニック)、寄り道(バイウェイ)と言う意味です。日本では、風景街道と訳され、道を通して地域活性化や観光振興に取り組んでいる138のルートがあります。九州には14のルートがあります。

本誌では、九州風景街道の一つ「日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)」の活動や旬の地域資源等について、地域の皆さんや道路利用者の方々にご紹介するものです。

◆ 日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)のホームページ ◆
URL: <http://nippou-kaigan.kirara.st/>



日本風景街道

旬の情報を毎月発信中 皆様からの情報提供をお待ちしております。

問い合わせ先

日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会

〒876-0848 大分県佐伯市城下東町8-19 (佐伯市観光協会内)
tel 0972-23-1101 fax 0972-23-1146

(行政側問い合わせ先)

佐伯河川国道事務所 工務課
tel 0972-22-1880 fax 0972-23-2726

延岡河川国道事務所 調査第二課
tel 0982-31-1155 fax 0982-22-0489